

要望書（回答）

新型コロナウイルスワクチンの優先接種について

苫小牧市長はじめ苫小牧市職員の皆様には、市民の生活と命を守るため昼夜を問わず新型コロナウイルス感染症の拡大阻止、医療機関の確保等各種対策にご尽力をいただき感謝を申し上げます。

現在、私たち幼児教育機関は北海道の「緊急事態宣言」及び「北海道医療非常事態宣言」を踏まえた幼児教育・保育を実践するとともに、教職員の日常生活に対する注意喚起にも努めております。

しかしながら、変異ウイルスによる感染が増加し、当初子どもたちに感染しづらいとされていたものが、多くの幼稚園、認定こども園、保育園で感染が確認され各地でクラスターも発生している状況となっております。

私たちは、行政及び保護者からの要請・要望、教育機関としての使命・信念のもと、できる限り休園することなく教育・保育現場を維持することとしております。

つきましては、事情をご賢察の上、教育現場の感染を防止し、保護者に代わって保育等を行うことができるようワクチン接種の優先対象機関（対象者）としていただきたく要請いたします。

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

大学や高校、小・中学校、幼稚園などの教育施設やこども園や保育園などの保育施設に従事する方の優先接種については、国が設定する優先接種のグループには含まれておりませんが、地域の感染経過や感染状況を鑑みると非常に重要であると認識しています。

今回のワクチンは統計から若年層に副反応が強いことや、男性よりも女性の方が、副反応が出やすいことが分かっているため、業務継続性も考慮した職場単位での計画的な接種が求められると考えております。

これらの現状を共有し、まずは国が示す次の優先グループの接種を速やかに終了したのちに、接種機会の確保に向けて協議させていただければと思います。